

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	照岸・糸泊地区集会所改修事業	泊村	39,079,908	35,000,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	照岸・糸泊地区集会所改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		泊村		
交付金事業実施場所		泊村大字泊村		
交付金事業の概要		照岸・糸泊地区集会所改修事業 照岸・糸泊地区集会所は、建築後20年以上が経過し、屋上・外壁の腐食、内部の漏水・カビ等により、利用者に支障をきたしているため、改修工事を実施致します。		
総事業費		39,079,908	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	35,000,000 0 35,000,000
交付金事業の成果目標		平成6年に建築され、20年以上が経過したことにより、屋根や外壁の腐食や内部の漏水など施設の老朽化が顕著になっており、利用する地域住民の利用にも支障をきたしております。そこで、本交付金を活用し、照岸・糸泊地区の改修工事を行うことにより、地域住民の方々へ従来通りの心地の良い憩いの場として提供することができます。また、当施設は、災害発生時の避難場所にも指定されていることから、住民が避難した際の安全の確保と安心を与えられる集会所にすることによって、地域住民の福祉の向上を図ることを目標と致します。		
交付金事業の成果指標		本交付金事業によって成果目標を達成するには、平成29年4月までに従来どおりの地域住民の心地の良い憩いの場として当施設を利用していただき、改修工事により、以前の集会所より安心・安全な集会所だという事を広く周知し、知っていただく必要があります。本交付金を活用し集会所改築前の年間利用回数31回と同水準を維持することと致します。		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、泊村に必要な集会所を改修し、平成29年4月までに集会所を開設することができ、住民の方々からの不安を解消し、安心・安全な集会所を提供する事ができました。今後も地域住民の方々から従来どおり集会所を利用していただくために改修した旨を広く周知することで、引き続き、地域の福祉向上を図っていくことを継続することとし、平成29年度の利用回数については、改めて再評価致します。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
照岸・糸泊集会所改修工事		指名競争入札	鈴木建設株式会社	39,079,908
		計		39,079,908
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H29

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載